

3 エシカル消費で考える社会問題

ふだんの買い物で考えてみましょう。
環境にやさしいエコ商品、リサイクル商品、フェアトレード商品 → P31、障がい者支援の商品、資源保護の認証を受けたラベルのついた商品などを選ぶとします。そうすると、それぞれの商品を作った人や売る人が、こうしたいと考えている社会問題の解決につながります。

買い物だけでなく、商品を大切に長く使うことや、リサイクルなどでゴミを減らすことも自然環境の保護につながります。

食べるもの、着るもの、使うもの、すべての生産物は、わたしたち消費者が消費す

るために作られるものです。ですから、消費者が社会問題のことを考えた消費をすれば、世界を変えることのできる大きな力になります。むしろ、消費者の力がなければ解決できないといつていいでしょう。

一人ひとりの力は小さいけれど、生産者の生活を考えたチョコレートを買う、環境に配慮した服を選ぶ、そうした製品を作る企業を応援するなど、日常の小さな行動の積みかさねが、やがて大きな力になり「一人ひとりの人間のことを大切にする世界」を実現することにつながります。



「エシカル消費」に決まったやり方はありません。解決しようとする社会問題も決まっていません。自分が大事だと考える問題を、こうすれば解決につながると思った方法で実行すれば、それもりっぱな「エシカル消費」です。

このシリーズでは、いろいろな社会問題のことや、それを解決しようとする消費の取り組みの例を紹介していきます。

ほかに、どのような社会問題があって、どのように解決できるのか、わたしたちの消費でできることを考えてみましょう。



エシカル消費で考える社会問題の例

